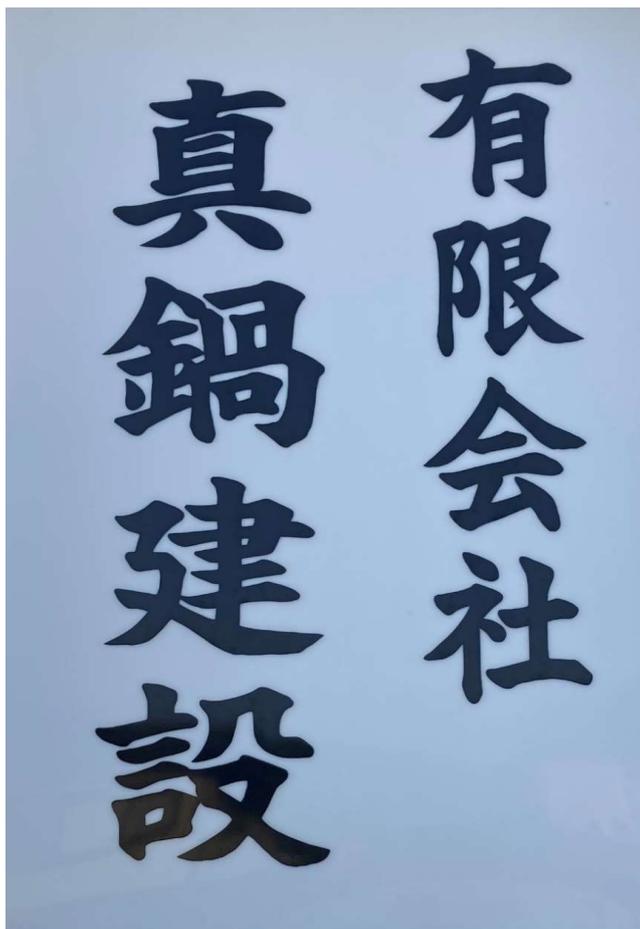




# 有限会社真鍋建設

2023 年度 環境経営レポート

(対象期間 2023 年8月1日～ 2024 年7月31日)



発行日： 2024年9月13日

## 目 次

項 目	頁
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	4
主な環境負荷の実績	5
環境経営目標及びその実績	5
環境経営計画の取組結果とその評価	6～7
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	8
緊急事態対応訓練	9
代表者による全体の評価と見直し・指示	9
これまでの環境活動の紹介	9

# 環境経営方針

## ＜環境経営理念＞

有限会社真鍋建設は、本業である建築工事を通じて、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に環境保全活動に取り組みます。

従業員一丸となって地球環境と事業活動の調和を図り、継続的に改善活動に取り組んでまいります。

## ＜環境保全への行動指針＞

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 創意工夫による省エネルギー等により二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 廃棄物の発生抑制につとめ、混合廃棄物の分別に努めます。
4. 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
5. 環境に配慮した施工に努めます。
6. 持続可能な社会、循環型社会への実現の取組に努めます。
7. 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。
8. この環境経営方針を全従業員に周知します。

制定日：2022年5月1日

代表取締役社長 真鍋 伊緒理

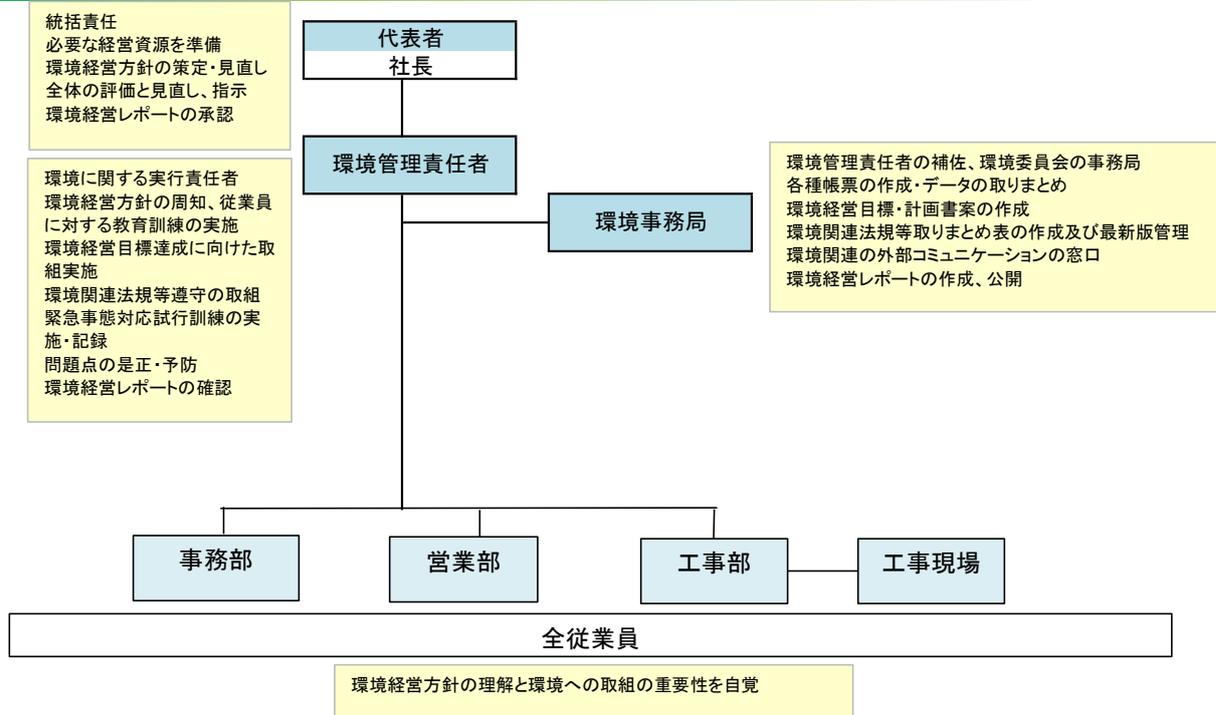
## □組織の概要

- (1) 名称及び代表者名  
 有限会社真鍋建設  
 代表取締役社長 真鍋 伊緒理
- (2) 所在地  
 本社・倉庫・駐車場 兵庫県豊岡市福田1660番地の1
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先  
 責任者 専務 真鍋 将人 TEL : 0796-23-5405  
 担当者 専務 真鍋 将人 FAX : 0796-23-5130
- (4) 事業内容  
 建築工事業、土木工事業
- (5) 事業の規模  
 売上高 8,619 万円
- |       |                |                   |
|-------|----------------|-------------------|
|       |                | 本社・倉庫・駐車場         |
| 総従業員  | 名              | 13名               |
| 延べ床面積 | m <sup>2</sup> | 297m <sup>2</sup> |
- (6) 事業年度 8 月 1 日 ~ 7 月 31 日

## □認証・登録の対象組織・活動

登録組織名 : 有限会社真鍋建設  
 対象事業所 : 本社・倉庫・駐車場  
 活動 : 建築工事業、土木工事業  
 対象外 : なし

## □環境経営組織図及び役割・責任・権限表



## □主な環境負荷の実績

項目	単位	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	21,044	20,615	22,685
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	495	505	620
産業廃棄物排出量	kg	0	0	800
水使用量	m <sup>3</sup>	42	41	40

※二酸化炭素排出係数 0.318 kg-CO<sub>2</sub>/kWh 関西電力の2019年度の調整後排出係数

※負荷の実績は工事現場を含む

※EA21で対象とする化学物質の使用はありません

## □環境経営目標及びその実績

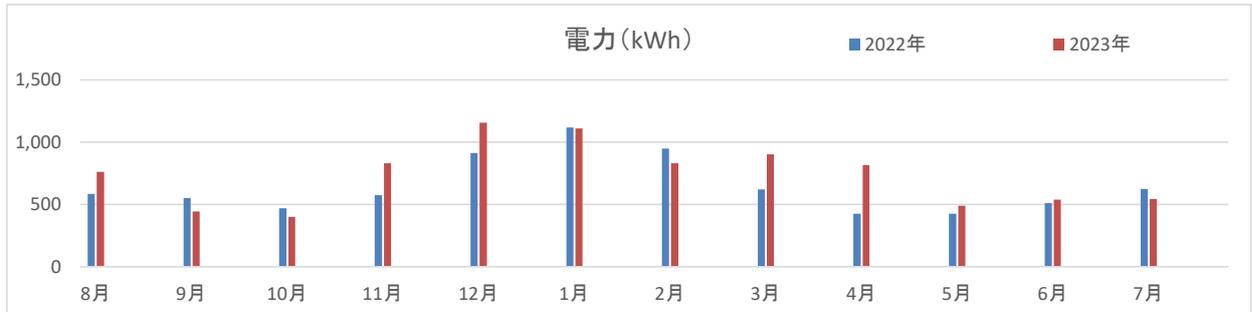
項目	年度	2022年度	2023年度		評価	2024年度	2025年度
		(基準値)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	2,540	2,514	2,804	×	2,489	2,464
	基準年度比		99%	110%		98%	97%
LPGによる二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	1,512	1,497	1,152	○	1,482	1,467
	基準年度比		99%	76%		98%	97%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	16,938	16,769	18,729	×	16,600	16,430
	基準年度比		99%	112%		98%	97%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO <sub>2</sub>	20,990	20,780	22,685		20,570	20,360
一般廃棄物の削減	kg	505	500	620	×	495	490
	基準年度比		99%	124%		98%	97%
水使用量の削減	m <sup>3</sup>	41	41	40	○	40	40
	基準年度比		99%	99%		98%	97%
環境に配慮した工事の推進	行動目標(次項による)						

## □環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標:○達成 ×未達成

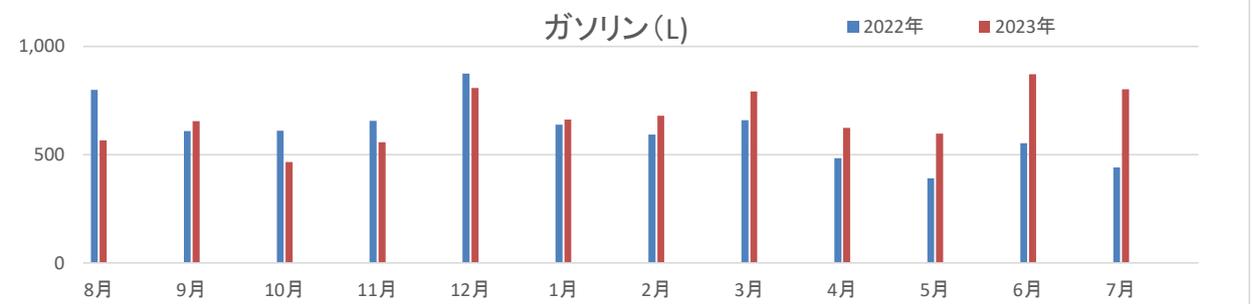
活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	日中の明るい時間帯は照明を控え、不要な照明や設備等をOFFして、無駄な電力を使用しない事を徹底・周知させて取組んでいく また器具等をLED照明への交換も積極的に検討していく
・不要照明の消灯	△	
・働き方見直しによる残業時間の短縮	○	



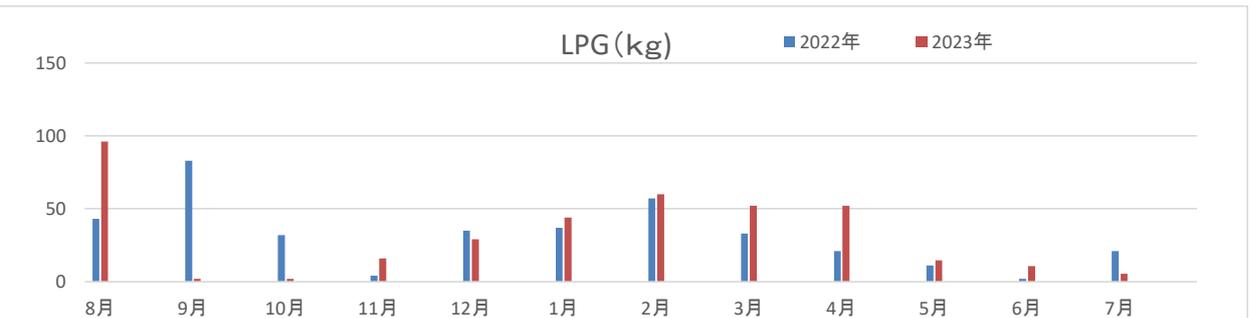
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
2022年	584	551	468	574	914	1,120	948	621	425	425	508	624
2023年	761	441	399	830	1,156	1,110	831	904	814	489	539	544

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	前年度と比べて工事現場等が遠方となり、それに伴い燃料と距離が比例して増加した。その中で相乗り、アイドリングストップや空ぶかしなど、無駄な積載をせずに少しでも燃費の向上が出来るように周知・徹底させて実行することが燃料の抑制に繋がるため意識して取組んでいきたい。遠方時は極力ハイブリット車を優先に使用する
・アイドリングストップ	○	
・効率的なルートを選択	○	



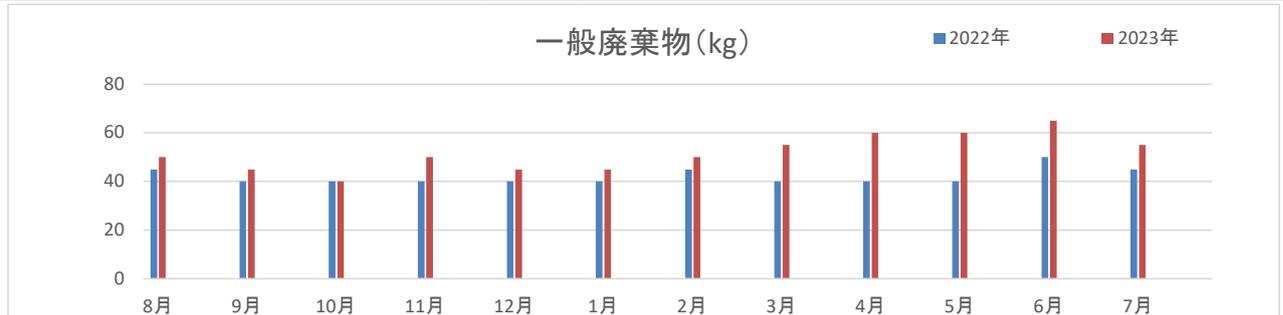
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
2022年	798	609	610	656	874	637	592	659	483	390	552	441
2023年	566	654	465	557	807	661	680	791	624	597	870	801

LPGによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	空調設備がガスヒートエアコンのため、夏・冬場の温度管理の徹底 冬場以外は極力お湯等を使用しないように心掛けていくことが大事。 取組を継続するとともに設置した最新のエアコンの削減効果を確認する
・空調温度の適正化 (冷房28℃ 暖房20℃)	△	
・温水温度の適正化	○	



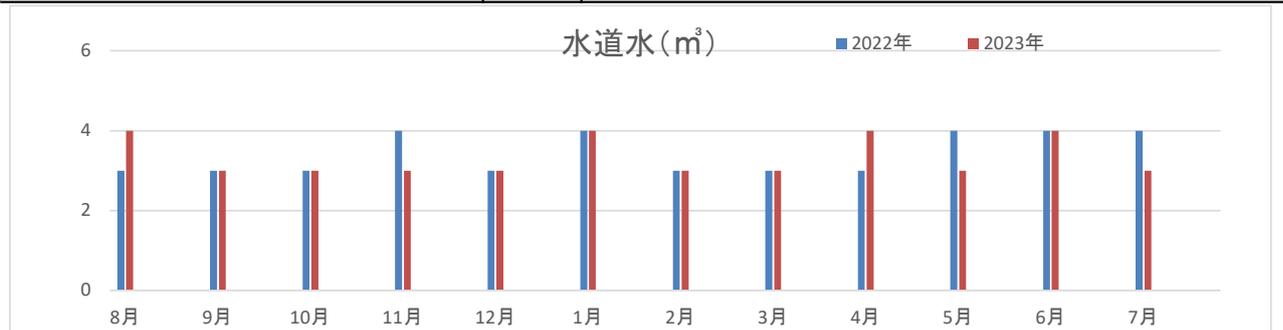
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
2022年	43	83	32	4	35	37	57	33	21	11	2	21
2023年	96	2	2	16	29	44	60	52	52	15	11	6

<b>一般廃棄物の削減</b>	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	ペーパーレス化の推進、ごみ等の抑制及び分別の徹底で従業員一同取り組んでいく
・分別の徹底	○	
・印刷ミスの削減及び裏面の使用	○	



	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
2022年	45	40	40	40	40	40	45	40	40	40	50	45
2023年	50	45	40	50	45	45	50	55	60	60	65	55

<b>水使用量の削減</b>	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	全員で節水への取組や出しっぱなし等の禁止、雨水利用などの取入れも考慮して水の使用の削減していきたい
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	
・節水の呼びかけ	○	



	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
2022年	3	3	3	4	3	4	3	3	3	4	4	4
2023年	4	3	3	3	3	4	3	3	4	3	4	3

<b>環境に配慮した工事の推進</b>	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・工事の効率化	○	物価上昇や材料等の供給不足という状況の中、資材・材料等の選定、無駄やミスを無くすことで廃棄物の抑制にもなり、効率も良くなり重視して取組んでいきたい。日々の人員及び各現場の調整等の周知の徹底も怠らず行うことで効率化を図っていく
・作業ミスの防止	○	

<b>課題を解決しチャンスを活かす取組</b>	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・技術の継承	○	若手不足並びに人材確保において、働き方改革の推進にも大きく力を入れて取組んで 自社ピーアールして盛上げられるよう 今後の課題だと感じた。また人材確保において外国人労働者の雇用をはじめてみた
・事業拡大のための人材確保	△	
・働き方改革	○	

## □各事業所の取組紹介

<本社>



## □環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項 (施設・物質・事業活動等)	遵守
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の適正処理、保管基準・委託基準の遵守、マニフェストの管理	○
建設リサイクル法	再資源化等の実施義務 発注者への再資源化等完了報告と記録の保存	○
騒音規制法	特定建設作業の事前届出、規制基準の遵守	○
振動規制法	特定建設作業の事前届出、規制基準の遵守	○
消防法 (危険物)	危険物の適正な取扱・保管	○
フロン排出抑制法	フロン類使用機器の定期点検と記録の保存 業務用エアコン、冷蔵・冷蔵庫等の有無の事前確認、 発注者への書面説明、書面の3年間保存	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。  
なお、関係当局からの違反等の指摘、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

## □緊急事態対応訓練

緊急事態の想定： 火災発生時の対応及び措置について	
■実施日： 2023年11月9日	■実施場所 本社
■参加者： 全社員	■実施内容： 火災対応手順書の確認
■評価： 災害発生時の通報、並びに措置等を全社員で手順書を確認し、周知することが出来た	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
■実施状況の様子	
	

## □代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年9月13日

電力、ガスや資材等価格が高止まりしており、節約だけでなく創意工夫や知恵を出し合い全従業員でより改善・強化を図っていく必要がある。引続きエコアクション21を通して環境への取組を進めて課題解決に会社と全従業員を挙げて推進していく必要がある。

代表取締役社長 真鍋 伊緒理

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標・計画	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり 実績を踏まえて見直すこと
実施体制	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり

## □これまでの環境活動の紹介

